



## 2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月15日

上場会社名 ジーエフシー株式会社  
コード番号 7559 URL <https://gfc-jp.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西村 公一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部部长兼財務経理部 管掌 (氏名) 丹羽 淳 TEL 058-387-8181

定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	21,297	27.4	657		686		455	
2022年3月期	16,704	8.3	157		59		42	

(注) 包括利益 2023年3月期 467百万円 ( %) 2022年3月期 49百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	82.33		2.8	3.6	3.0
2022年3月期	7.61		0.2	0.3	0.9

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 百万円 2022年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	19,270	16,404	85.1	2,967.10
2022年3月期	18,241	16,075	88.1	2,907.54

(参考) 自己資本 2023年3月期 16,404百万円 2022年3月期 16,075百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	608	125	2	8,269
2022年3月期	350	97	529	7,781

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期		0.00		25.00	25.00	138		0.8
2023年3月期		0.00		23.00	23.00	127	27.9	0.8
2024年3月期(予想)		0.00		23.00	23.00		34.8	

(注) 2022年3月期期末配当金の内訳 普通配当 23円00銭 記念配当 2円00銭

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,866	7.3	521	20.6	557	18.8	365	19.7	66.03

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料12ページ「3.連結財務諸表及び主な注記(5)連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	5,769,040 株	2022年3月期	5,769,040 株
期末自己株式数	2023年3月期	240,234 株	2022年3月期	240,234 株
期中平均株式数	2023年3月期	5,528,806 株	2022年3月期	5,528,806 株

(参考)個別業績の概要

2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	18,848	22.8	514		568		334	
2022年3月期	15,339	7.4	194		80		49	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	60.41	
2022年3月期	8.92	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2023年3月期	17,871		15,588		87.2		2,819.52	
2022年3月期	17,081		15,382		90.0		2,782.25	

(参考) 自己資本 2023年3月期 15,588百万円 2022年3月期 15,382百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13
4. その他 .....	14
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症にともなう行動制限が徐々に緩和され、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、景気は緩やかに持ち直しております。ただし、各種原材料やエネルギー価格の高騰などにより、物価高の影響が本格化してきており、加えて、世界的な金融引締め等が続く中で海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクが懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

当社グループの主要顧客である観光産業や外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大期からウィズコロナ時代へ、消費者の行動変容とともに食に関わるビジネスのあり方やニーズが大きく変化してきております。また、行動制限が緩和され、需要が回復しつつある中、観光産業や外食産業を取り巻く経営環境は、物価高や人手不足の影響により、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、世の中の変化を的確に捉え、お客様との繋がりを大切にするとともに、1社1社の変化と要望を把握し、顧客に寄り添った提案やサービスの提供を行うことにより、『和食を中心とする業務用加工食材の企画・製造・販売』という当社のコア事業を強化し、当社ビジョン「おいしい出会いを創りたい」の実現と更なる企業価値向上を目指してまいりました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高212億97百万円（前年同期比27.4%増）、営業利益6億57百万円（前年同期は営業損失1億57百万円）、経常利益6億86百万円（前年同期は経常損失59百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益4億55百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失42百万円）となりました。

当社グループは、業務用加工食材事業の単一セグメントであるため、次の取扱区分により記載し、セグメントによる記載を省略しております。

#### ① 水産加工品

主に魚介類を中心として、野菜等を組み合わせた加工商品で、売上高は89億96百万円（前年同期比37.6%増）となりました。

#### ② 農産加工品

農産物の素材を活かした加工商品で、売上高は89億15百万円（前年同期比24.5%増）となりました。

#### ③ 畜肉加工品

生肉の冷凍加工品及び燻製加工品で、売上高は12億9百万円（前年同期比22.0%増）となりました。

#### ④ その他

料理の下味、かくし味等に使用する特殊調味料及び料理の演出効果を高める器・道具類で、売上高は21億76百万円（前年同期比7.8%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における資産の残高は、192億70百万円（前連結会計年度末は182億41百万円）となり、10億29百万円増加いたしました。繰延税金資産の減少（2億93百万円から1億37百万円、1億56百万円減）があったものの、現金及び預金の増加（78億31百万円から83億19百万円、4億88百万円増）、売掛金の増加（17億91百万円から22億68百万円、4億77百万円増）並びに商品及び製品の増加（7億42百万円から9億74百万円、2億31百万円増）が主な要因であります。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債の残高は、28億66百万円（前連結会計年度末は21億66百万円）となり、7億円増加いたしました。長期借入金の減少（2億円から1億56百万円、44百万円減）があったものの、支払手形及び買掛金の増加（10億58百万円から16億15百万円、5億56百万円増）並びに短期借入金の増加（1億40百万円から3億円、1億60百万円増）が主な要因であります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、164億4百万円（前連結会計年度末は160億75百万円）となり、3億29百万円増加いたしました。利益剰余金の増加（117億92百万円から121億9百万円、3億16百万円増）が主な要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動で得られた資金が6億8百万円、投資有価証券の取得による支出等の投資活動で使用した資金が1億25百万円、短期借入れによる収入等の財務活動で得られた資金が2百万円でありました。その結果、前連結会計年度末に比べて4億88百万円増加し、82億69百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動の結果得られた資金は、6億8百万円（前連結会計年度は3億50百万円の収入）となりました。これは主に売上債権の増加額5億50百万円があったものの、税金等調整前当期純利益6億24百万円並びに仕入債務の増加額5億56百万円により、資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動の結果使用した資金は、1億25百万円（前連結会計年度は97百万円の支出）となりました。これは主に有価証券の償還による収入40億円があったものの、有価証券の取得による支出36億円、投資有価証券の取得による支出4億円並びに固定資産の除却による支出92百万円により、資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動の結果得られた資金は、2百万円（前連結会計年度は5億29百万円の支出）となりました。これは主に短期借入金の返済による支出14億37百万円並びに配当金の支払額1億38百万円があったものの、短期借入れによる収入15億90百万円により、資金が増加したことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率 (%)	87.3	88.1	85.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	40.5	40.0	39.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	—	100.5	82.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	9.7	86.4	99.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに算出しております。

(注3) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、まず、当社グループの主要顧客である観光産業や外食産業におきましては、コロナ禍で消費者の行動様式も大きく変容し、ウィズコロナ時代における観光産業や外食産業から求められるニーズも大きく変化しております。また、国内旅行客や訪日外国人の増加等により需要が回復し、景気が持ち直していく事が期待されるものの、物価高や人手不足の影響により、観光産業や外食産業を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続くものと考えられます。

このような状況の中で、当社グループは和食を中心とする業務用加工食材の企画・製造・販売というコア事業に軸足を置き、これまで培ってきた価値観を大切にしながらも、今の時代に沿った新しい価値を提供し、ジーエフシーのブランドを再構築してまいります。

そして、当社ビジョン「おいしい出会いを創りたい」の実現と更なる企業価値の向上を目指してまいります。

これらの施策により、2024年3月期通期(2023年4月1日より2024年3月31日まで)の連結業績見通しといたしましては、売上高228億66百万円、営業利益5億21百万円、経常利益5億57百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3億65百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,831,529	8,319,557
受取手形	89,985	164,130
売掛金	1,791,631	2,268,632
有価証券	1,300,000	1,200,000
商品及び製品	742,907	974,428
原材料及び貯蔵品	62,622	68,117
その他	62,813	65,874
貸倒引当金	△5,310	△4,460
流動資産合計	11,876,178	13,056,280
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,457,202	4,241,596
減価償却累計額	△3,940,071	△3,769,318
建物及び構築物 (純額)	517,130	472,277
機械装置及び運搬具	1,521,682	1,450,463
減価償却累計額	△1,455,903	△1,395,292
機械装置及び運搬具 (純額)	65,779	55,171
土地	3,706,311	3,706,311
建設仮勘定	—	2,160
その他	372,493	349,290
減価償却累計額	△325,332	△312,249
その他 (純額)	47,160	37,041
有形固定資産合計	4,336,382	4,272,962
無形固定資産		
ソフトウェア	32,456	26,741
その他	28,570	28,570
無形固定資産合計	61,026	55,311
投資その他の資産		
投資有価証券	1,278,888	1,394,640
繰延税金資産	293,478	137,016
退職給付に係る資産	205,364	195,879
その他	203,924	162,902
貸倒引当金	△13,932	△4,324
投資その他の資産合計	1,967,723	1,886,114
固定資産合計	6,365,131	6,214,387
資産合計	18,241,310	19,270,668

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,058,361	1,615,159
短期借入金	140,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	12,120	44,000
未払法人税等	17,435	15,611
賞与引当金	127,034	129,292
役員賞与引当金	5,400	3,090
その他	262,196	260,576
流動負債合計	1,622,546	2,367,730
固定負債		
長期借入金	200,000	156,000
役員退職慰労引当金	98,511	101,442
退職給付に係る負債	175,136	172,535
その他	69,873	68,406
固定負債合計	543,521	498,383
負債合計	2,166,068	2,866,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	4,539,178	4,539,178
利益剰余金	11,792,703	12,109,679
自己株式	△351,467	△351,467
株主資本合計	16,080,413	16,397,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,622	5,602
為替換算調整勘定	△548	1,562
その他の包括利益累計額合計	△5,171	7,164
純資産合計	16,075,242	16,404,554
負債純資産合計	18,241,310	19,270,668

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	16,704,461	21,297,590
売上原価	13,531,537	17,181,774
売上総利益	3,172,924	4,115,815
販売費及び一般管理費		
販売費	870,496	981,339
一般管理費	2,460,308	2,477,468
販売費及び一般管理費合計	3,330,804	3,458,808
営業利益又は営業損失(△)	△157,880	657,007
営業外収益		
受取利息	22,723	27,986
受取配当金	4,938	5,564
受取賃貸料	11,254	12,330
受取手数料	5,234	3,103
補助金収入	55,642	20,732
貸倒引当金戻入額	—	418
その他	8,000	8,564
営業外収益合計	107,793	78,699
営業外費用		
支払利息	4,103	6,100
出資金運用損	375	29,738
為替差損	4,366	11,565
賃貸収入原価	923	1,201
その他	—	500
営業外費用合計	9,768	49,106
経常利益又は経常損失(△)	△59,855	686,600
特別利益		
固定資産売却益	8	404
特別利益合計	8	404
特別損失		
固定資産除却損	29,436	62,864
特別損失合計	29,436	62,864
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△89,282	624,139
法人税、住民税及び事業税	20,952	18,007
法人税等調整額	△68,155	150,935
法人税等合計	△47,202	168,943
当期純利益又は当期純損失(△)	△42,080	455,196
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△42,080	455,196

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△42,080	455,196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,655	10,225
為替換算調整勘定	1,690	2,110
その他の包括利益合計	△6,965	12,336
包括利益	△49,045	467,532
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△49,045	467,532
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,344,021	2,295,156	11,961,946	△351,467	16,249,656
当期変動額					
減資	△2,244,021	2,244,021			—
剰余金の配当			△127,162		△127,162
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			△42,080		△42,080
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	△2,244,021	2,244,021	△169,242	—	△169,242
当期末残高	100,000	4,539,178	11,792,703	△351,467	16,080,413

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	4,033	△2,239	1,793	16,251,450
当期変動額				
減資				—
剰余金の配当				△127,162
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△)				△42,080
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△8,655	1,690	△6,965	△6,965
当期変動額合計	△8,655	1,690	△6,965	△176,207
当期末残高	△4,622	△548	△5,171	16,075,242

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	4,539,178	11,792,703	△351,467	16,080,413
当期変動額					
剰余金の配当			△138,220		△138,220
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）			455,196		455,196
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	316,975	—	316,975
当期末残高	100,000	4,539,178	12,109,679	△351,467	16,397,389

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△4,622	△548	△5,171	16,075,242
当期変動額				
剰余金の配当				△138,220
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）				455,196
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	10,225	2,110	12,336	12,336
当期変動額合計	10,225	2,110	12,336	329,312
当期末残高	5,602	1,562	7,164	16,404,554

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△89,282	624,139
減価償却費	135,127	114,918
為替差損益(△は益)	1,680	5,701
賞与引当金の増減額(△は減少)	58,091	2,258
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	82	△2,310
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,628	2,931
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,966	△10,458
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,734	△2,601
受取利息及び受取配当金	△27,661	△33,551
補助金収入	△55,642	△20,732
支払利息	4,103	6,100
出資金運用損益(△は益)	375	29,738
固定資産売却損益(△は益)	△8	△404
固定資産除却損	29,436	62,864
売上債権の増減額(△は増加)	△304,699	△550,691
棚卸資産の増減額(△は増加)	388,019	△237,016
仕入債務の増減額(△は減少)	131,449	556,798
その他の資産の増減額(△は増加)	8,866	13,865
その他の負債の増減額(△は減少)	4,012	20,091
小計	294,344	581,643
利息及び配当金の受取額	27,433	32,332
補助金の受取額	55,642	20,732
利息の支払額	△4,048	△6,131
法人税等の支払額	△23,187	△20,275
営業活動によるキャッシュ・フロー	350,184	608,300
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△100,000	△100,000
定期預金の払戻による収入	100,000	100,000
有価証券の取得による支出	△3,600,000	△3,600,000
有価証券の償還による収入	4,450,000	4,000,000
有形固定資産の取得による支出	△37,166	△25,650
有形固定資産の売却による収入	361	350
無形固定資産の取得による支出	△10,594	△8,122
固定資産の除却による支出	—	△92,750
投資有価証券の取得による支出	△850,000	△400,000
出資金の払込による支出	△50,000	—
その他	116	219
投資活動によるキャッシュ・フロー	△97,283	△125,952
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,209,898	1,590,645
短期借入金の返済による支出	△1,580,922	△1,437,717
長期借入金の返済による支出	△31,480	△12,120
配当金の支払額	△127,340	△138,393
財務活動によるキャッシュ・フロー	△529,844	2,414
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,931	3,265
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△275,012	488,028
現金及び現金同等物の期首残高	8,056,541	7,781,529
現金及び現金同等物の期末残高	7,781,529	8,269,557

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度及び当連結会計年度において、当社グループは業務用加工食材事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	農産加工品	水産加工品	畜肉加工品	その他	合計
外部顧客への売上高	7,158,117	6,537,124	990,896	2,018,323	16,704,461

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	水産加工品	農産加工品	畜肉加工品	その他	合計
外部顧客への売上高	8,996,522	8,915,313	1,209,368	2,176,385	21,297,590

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度

該当事項はありません。

当連結会計年度

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度及び当連結会計年度において、該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度及び当連結会計年度において、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	2,907.54円	2,967.10円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△7.61円	82.33円

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。なお、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△42,080	455,196
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△42,080	455,196
普通株式の期中平均株式数 (株)	5,528,806	5,528,806

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

(A) 生産実績

区分	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	前年同期比 (%)
水産加工品 (千円)	9,925	120.2
農産加工品 (千円)	265,813	108.4
畜肉加工品 (千円)	161	723.7
その他 (千円)	339,086	100.7
合計 (千円)	614,988	104.2

(注) 金額は販売価格によっております。

(B) 仕入実績

区分	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	前年同期比 (%)
水産加工品 (千円)	7,783,865	149.7
農産加工品 (千円)	6,918,992	123.5
畜肉加工品 (千円)	966,497	120.5
その他 (千円)	1,438,756	109.6
合計 (千円)	17,108,111	132.4

(C) 受注実績

当社グループは見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

(D) 販売実績

区分	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	前年同期比 (%)
水産加工品 (千円)	8,996,522	137.6
農産加工品 (千円)	8,915,313	124.5
畜肉加工品 (千円)	1,209,368	122.0
その他 (千円)	2,176,385	107.8
合計 (千円)	21,297,590	127.4